

# 水戸藩人士の墓碑銘索引

木 戸 之 都 子

## はじめに

水戸藩の人物研究のための基礎資料を考えると、代表的なものに「水府系纂」<sup>(1)</sup>があげられる。従来、水戸藩士の履歴を調べるときはこれが使われてきた。しかし、「水府系纂」は役職・俸禄・家系を記録したもので、人物の性格や学風までは記されていない。そこで考えられるのが江戸時代に多く作られた墓碑文でその人物の経歴をみることである。墓碑文には墓主の名や没年、生前の事績が記されており、墓碑銘、墓誌、墓表、墓碣、碑陰記、碑臨、墓記、壙記など様々な言葉で表現されている。『世界大百科事典』(平凡社)<sup>(2)</sup>によると、「墓誌」は「墓誌銘ともいう。本来、中国の文章のジャンルの一つで、墓中に埋め、時代が移り変わっても、墓の主がだれかをあきらかにするための文をいう。通例、墓主の伝記を書いた散文の〈序〉と墓主を記念・賛頌する韻文の〈銘〉とから成るが、どちらか一方を欠くばあいもまれにあり、〈銘〉がなくても〈墓誌銘〉と呼ぶのがふつうである」としている。また、「墓碑銘」と「墓誌銘」は本来、区別されているが、<sup>(3)</sup>「墓碑銘」が広く「墓石のみならず棺その他に記されたものを含む」と<sup>(4)</sup>としているので、本稿でも墓石などに刻まれた碑文を「墓碑銘」という言葉で主に表現する。

『人文コミュニケーション学科論集』七号、二五、四〇頁

日本の墓碑銘は漢学・儒学とともに中国から移入され、江戸時代から明治初期にかけて数多く作られた。水戸藩は二代藩主徳川光圀が若い頃、儒学の研鑽に専念し、儒教を重んじる傾向が強く、水戸徳川家の墓制も光圀の時代から儒教様式の水戸藩独自のものがあつた。<sup>(5)</sup>また、光圀は明の儒学者だつた朱舜水を水戸藩に師として招き、藩士の教育に儒教思想を取り入れ、儒者を藩士の列に編入したため、<sup>(6)</sup>水戸藩の教育文化面で儒官が重要な位置を占めた。そのため水戸藩人士の墓にも墓碑銘が数多く残されているのである。秋山高志氏の「書家 藤田北郭について」<sup>(7)</sup>によると、北郭は中国漢・明時代の碑文一〇七をまとめて「碑銘」の手引書を作っている。当時の学者・文人たちが墓碑銘作成のために中国の碑文を手本として活用していたことがわかる。

ところで、水戸藩士の墓石の位置は点在しているうえに、碑石も風化・摩滅して刻まれている文字が読めない場合や碑石そのものが失われている場合があるので、墓碑銘を掲載した文献が必要となる。墓碑銘は主に撰文者(墓碑銘の作成者)の文集などに収録されているが、数が多くてまとまったものが存在しない。そこで、本稿は墓碑銘が存在する水戸藩の人物にスポットをあて、その人物の墓碑銘

二五

とその墓碑銘を作成した撰文者名、さらにその墓碑銘本文が掲載されている文献を人物名から検索できるようにするものである。本来なら墓石の所在地や墓碑銘本文を掲載するのが有効であるが、今回は紙面などの都合もあり、あくまで伝記研究のレファレンスツールのひとつとして墓碑銘本文を掲載している文献名を載せることとした。

近年、拓本などで水戸藩関係の碑文を残そうという動きがあり、関係図書が相次いで発行されている。平成一八年には前川捷三氏による『水戸の漢詩文』(一)～(九)(平成一〇～平成一八年)、日立市郷土博物館発行『日立の碑』。平成一九年には常陸太田市内遺跡調査報告書『水戸徳川家墓所』。平成二〇年には鈴木健夫氏及び田代辰雄氏による『碑文双書 茨城県内版漢文編 碑文・墓碑銘集』(一)(二)(続編刊行中)。それぞれ碑石の写真、碑文全文・訓み下し文を掲載しているほかに語注・解説などが付けられている。このように各地をまわって拓本を採り、碑文を解説して活字化するのは地域文化財の保護の意味でも意義のある仕事であるといえる。本稿はそれら活字化された碑文集を利用する上でも参考になればと考える。

注1 水府明徳会彰考館に伝えられてきた水戸藩士の系譜史料、一〇〇冊。うち欠本が二冊ある。水戸藩二代藩主徳川光圀が、元禄一二年に佐野郷成などに藩士の正確な名籍履歴を記録することを命じて編纂が始められ、代々書きつがれて慶応三年まで継続された。水戸藩士の系譜を調べられるだけでなく、藩の職制の変化や藩政の動向をうかがえる史料。(茨城県立歴史館「史料の手引き」より)

注2 『改訂新版 世界大百科事典』(平凡社 平成一九年)「墓誌」「墓碑銘」の項。  
注3 『日本国語大辞典』(小学館 平成一四年)によると、墓碑銘と墓誌の違いについては次のとおりである。

墓誌―死者の戒名・俗名・没年月日・享年・事跡などを刻んだ石。墓標として立てる石。

墓碑銘―墓碑に彫りこむ銘。死者の経歴などを刻んだ墓石の文章。墓碑文。

墓誌―墓石に刻まれた文。あるいは板石に刻まれて墓中に納められた文。狭義には板石に刻み墓室に平納されたもの。中国後漢時代に始まると考えられ、死者の貫籍・閥歴・業績などを碑などに記す。

墓誌銘―墓誌の末尾に加える銘。

注4 注2に同じ。

注5 『水戸徳川家墓所』九頁。川崎勝平著『瑞龍山水戸家の墓所』七四八頁(『常陸太田市史 通史編上』所収 常陸太田市 昭和五九年)

注6 『水戸光圀とその餘光』六五頁(名越時正著 水戸史学会 昭和六〇年)

注7 『常陸の社会と文化』所収 七二頁(吉成英文編 ぺりかん社 平成一九年)

## 一、水戸藩人士の墓碑銘索引

### 凡例

(一) 主に慶長期から明治初期に活躍・行動した水戸藩人士の墓碑銘の索引である。水戸藩主とその夫人など二二名(二四項目)、そのほかの水戸藩人士三五四名(三九二項目)。合計三七六名(四二六項目)。(一)内は重複している人物の数を入れた項目数である。)文献に墓碑銘本文が確認できた場合には女性や市井の人々も掲載した。あくまで伝記研究のためのツールとして作成したので、参考として行状や「・・・伝」などを含めたものもある。その場合は\*印を付けた。雑誌論文は「掃苔」を除いて含めなかった。

(二) 項目の見出しは「姓氏―諱(本名)」の形を原則とした。さらに墓碑銘、撰文者名「姓氏―諱」、墓碑銘本文が掲載されている文献名「(略称)」の順番で並べた。漢字の字体は原則として原文のままとした。諱の下に適宜、一般に広く知られている呼び名を付記した。撰文者名が空欄のものは墓碑銘に記載がないものである。「自撰」となっているのは生前本人が書いたものである。

(三) 排列は水戸藩主とその夫人は歴代順に並べ、そのほかの水戸藩人士は姓氏の五十音順とした。同音の漢字表記の排列は画数の少ないものを先にした。姓氏につづく名のみが決定できない項目は音読した。清音・濁音・半濁音は区別しなかった。

(四) 【文献略称一覧】略称を( )で示す。文献の書誌事項は次項の「参考文献一覧」に載せた。

(鑑) ―鑑詩集、(観瀾) ―観瀾集、(寒緑) ―寒緑遺稿、(先哲) ―近代先哲碑文集、(耕雲) ―耕雲余稿、(此君) ―此君堂文集、(事実) ―事実文編、(若水) ―若水館遺稿、(尚) ―尚不愧齋存稿、(史林) ―史林墓表、(正志) ―會澤正志齋文稿、(赤水) ―赤水文草、(拙斎) ―拙斎小集、(澹泊) ―澹泊齋文集、(鉄槍) ―鉄槍齋文鈔、(東壑) ―東壑文稿、(東湖) ―東湖全集、(徳川家) ―徳川家墓所、(太田) ―常陸太田の金石文、(那珂) ―那珂町の碑文、(南溪) ―南溪先生全集、(南陽) ―南陽原先生文集、(日立) ―日立の碑、(碑文) ―碑文双書、(楓軒) ―楓軒文稿、(蓬軒) ―蓬軒遺風、(松岡) ―松岡先生文集、(掃苔) ―「水戸先哲烈士の墓」(二、十二)、「掃苔」所収、(漢詩) ―水戸の漢詩文、(幽谷) ―幽谷全集

水戸藩人士の墓碑銘索引

## 水戸藩人士の墓碑銘索引

### ○水戸徳川家藩主

徳川頼房

源威公墓誌・人見傳

(事実一)

徳川光圀

故権中納言従三位水戸源義公之墓碑并墓誌

(事実二・徳川家)

徳川光圀

(寿蔵碑) 梅里先生墓

(徳川家)

徳川綱條

故権中納言従三位水戸肅公之墓碑并墓誌

(事実二・徳川家)

徳川宗堯

故参議従三位左近衛権中将水戸源成公之墓

(事実二・徳川家)

徳川宗翰

故参議従三位左近衛権中将水戸源良公墓誌并墓碑

(事実二・徳川家)

徳川治保

故権中納言従三位水戸源文公之墓誌并墓碑

(事実三・徳川家)

徳川治紀

故参議従三位左近衛権中将水戸源武公墓

(事実三・徳川家)

徳川齊脩

故権中納言従三位水戸源哀公之墓

(徳川家)

徳川齊脩

\*水戸鼎山公諡号・徳川齊昭

(事実四)

徳川慶篤

故権中納言従三位水戸烈公墓・徳川慶篤

(事実四・徳川家)

○水戸徳川家藩主夫人

光圀夫人尋子 改葬哀文太夫人藤原氏墓誌・徳川宗堯 (事実二)

綱條夫人季子 莊惠夫人藤原氏之墓 (徳川家)

宗堯夫人美代 純懿夫人源氏墓 (徳川家)

宗翰夫人郁子 端懿夫人藤原氏之墓 (徳川家)

治保夫人溢子 正禮夫人藤原氏之墓 (徳川家)

保紀夫人達子 恭穆夫人源氏墓 (徳川家)

齊脩夫人美子 孝文夫人源氏墓誌・徳川慶篤 (事実四・徳川家)

齋昭夫人吉子 文明夫人墓 (徳川家)

慶篤夫人幟子 順貞夫人源氏墓・徳川慶篤 (事実四・徳川家)

慶篤夫人経子 惠懿夫人源氏墓 (徳川家)

○水戸徳川家(その他)

水戸城主武田信吉 浄鑑院英譽崇巖武田君墓 (徳川家)

武田信吉母都摩 秋山夫人碑陰・徳川光圀 (事実四)

○水戸藩人士

あ

相澤道賢 僧玄長墓表・立原萬 (此君)

會澤喜曙 彦大夫會澤翁墓・會澤安 (日立)

會澤 菊 亡女菊墓銘・會澤安 (先哲・漢詩三・碑文一)

會澤恭敬 與平會澤君墓・藤田彪 (東湖・漢詩三・碑文一)

會澤婦人(恭敬妻) 會澤婦人根本氏墓碣・藤田彪 (先哲・漢詩三・碑文一)

會澤 安 會澤先生墓表・青山延光 (史林)

青野叔元 青野叔元碑文・三宅緝明 (史林)

青野叔元 青野欽之墓碑・三宅緝明 (觀瀾)

青山延寿 鐵槍先生碑・佐佐木籌 (掃苔九)

青山興道 王考西塙先生墓表・青山延于 (拙斎・事実二・史林)

青山 榮 先妣内田氏墓表・青山延于 (拙斎・漢詩七)

青山 多加 次配野村氏之墓・青山延寿 (漢詩四)

青山 縫 故佐野氏夫人之墓・青山延于 (拙斎・漢詩四・掃苔一)

青山 延彝 先考瑤谿先生碑・青山延于 (拙斎・事実二・漢詩七)

青山 延光 先考瑤谿先生碑・青山延于 (史林)

青山 延于 量介青山君墓誌・會澤安 (正志)

青山 延于 先考拙齋先生墓表・青山延光 (史林・掃苔一・漢詩四)

青山 類 先母青山氏墓表・青山延于 (拙斎)

赤坂懿文 理天玄正居士墓碑・立原萬 (此君)

秋葉故明 秋葉子孝碑銘・大剛隆豊 (耕雲三)

秋山久積 故滄浪子秋山君之墓・秋山陟 (史林)

秋山盛恭 秋山子謙墓表・豊田亮 (松岡)

秋山盛敏 秋山伯遜墓表・青山延光 (史林)

秋山德載 介七秋山君墓碑銘・會澤安 (正志)

安積 覺 故老牛居士安積君墓・小池友賢 (事実二・碑文一)

安積 覺 澹泊安積先生伝・板倉勝明 (事実二)

安積 覺 安積澹泊齋行実・徳田庸 (事実二)

安積正信 安積君墓碣銘・三宅緝明 (觀瀾・事実一)

朝倉政行 五郎衛門朝倉君墓碣銘并序・小宮山昌秀

朝倉政行	五郎衛門朝倉君墓誌銘・茅根泰	(楓軒・漢詩五)	石川久徵	桃蹊石川君墓碣銘・藤田彪	(史林・掃苔十二・東湖・漢詩八)
浅羽信昌	故楓山浅羽君墓・立原豊	(寒緑)	石川 純	文太郎石川先生墓表・藤田彪	(先哲)
浅羽昌言	故思則齋浅羽君之墓碑銘・立原萬	(漢詩七)	石川信成	休軒石川君墓碑銘・會澤安	(正哲)
朝日祐誠	故法印三僧祇龍華院旭峰君塔・長久保玄珠	(此君・漢詩五)	石川義政	水軒翁碑・根本正	(正志)
朝比奈泰護	水戸故執政朝比奈君墓碑銘・立原萬	(日立)	石河佐能	石河婦人伴氏墓誌・會澤安	(碑文二)
朝比奈泰雄	水戸故城代雲齊朝比奈府君之墓碑・立原萬	(此君)	板垣 矩	故法橋板垣翁墓碑銘・中村願言	(正志)
安島信可	七郎左衛門安嶋君墓碣銘并序・小宮山昌秀	(此君・漢詩三)	伊東當監	伊東道哉翁墓碑・高田與清	(事実二)
安島信順	彦之允安島君墓誌銘・會澤安	(楓軒)	伊藤友嵩	故從五位下玄蕃頭伊藤君墓碑・安積覺	(漢詩六・太田)
雨宮廣安	端亭先生雨宮君墓記・小宮山昌秀	(正志)	伊藤友直	伊藤武之進碑陰・安積覺	(澹泊七・事実二)
鮎澤國維	伊大夫鮎澤君墓碑銘・川瀬教文	(楓軒)	岩田健文	咸章堂岩田健文之墓碑銘・立原萬	(澹泊一)
有賀半弥	贈正五位有賀半彌墓・長久保猷	(掃苔二十)	岩間信賢	律衛門岩間翁墓表・藤田一正	(此君・漢詩八・碑文二)
安藤邦茂	安藤朴翁居士墓碑・三宅緝明	(掃苔九)	鵜飼眞泰	稱齋鵜飼君墓・鵜飼知之	(幽谷)
安藤爲實	抱琴子壽藏碑・三宅緝明	(觀瀾)	鵜飼眞昌	祭*鵜飼齋文・安積覺	(史林)
飯村 湜	南澗先生墓銘・友部好正	(觀瀾)	宇佐美充	久五郎宇佐美君墓表・會澤安	(澹泊一)
飯村 湜	南澗飯村君墓誌・小宮山昌秀	(楓軒・史林)	宇佐美充	宇佐美公實墓誌銘・藤田一正	(正志)
飯村昌富	太左衛門飯村君墓誌・立原萬	(楓軒)	宇佐美惟德	兵三郎宇佐美君墓誌銘・藤田一正	(幽谷)
池永 直	南浦池永翁墓碑・立原萬	(此君・漢詩五)	薄井宗安	故七左衛門碓井翁墓・立原萬	(事実三・幽谷・漢詩七)
生駒維熊	峨眉先生生駒君墓碑・立原萬	(此君)	打越直正	撲齋打越君墓碑銘・名越克敏	(此君・漢詩五)
石井 收	故三朶花石井君之墓	(此君・漢詩六)			(南溪・史林)
石川久徵	桃蹊石川君墓誌銘・會澤安	(史林)			

打越直道 故彌八打越君墓碑銘・立原萬  
(此君・漢詩五)

海野美盛 二名匠碑・菊地謙二郎  
(漢詩一・碑文二)

榎本政寧 故榎本府君墓碑陰・長久保玄珠  
(赤水)

お 大石田勝吉 六兵衛大石田君之墓・大石田道勝  
(日立)

大内玉江 玉江大内先生墓・森蔚  
(掃苔十七)

大内豊章 帶川叟墓誌銘・遅月庵空阿  
(日立)

大串元善 雪蘭居士碑銘・安積覺  
(事実二・史林)

大窪采女 故大窪采女君墓・大窪光茂  
(日立)

大窪光茂 大窪匠作墓誌・豊田亮  
(松岡)

大窪光慶 枕流大窪先生墓・大窪行  
(日立・碑文二)

大関勝實 贈位五位大関和七郎之墓・津田信存  
(掃苔十二・碑文二)

大関庸徳 南窓大関君墓碑銘・藤田彪  
(東湖)

大竹 復 朋来館大竹玄晋墓碑銘・立原萬  
(此君)

大竹 復 大竹復墓誌・小宮山昌秀  
(楓軒)

大田資眞 大田靜軒壽藏碑・安積覺  
(澹泊八)

大塚一成 故青嶂大塚居士墓碑銘・長久保玄珠  
(赤水)

大塚祐謙 故法印益齋墓碑銘・長久保玄珠  
(赤水)

大場維景 玄賞齋主人之墓・菊池重固  
(漢詩六)

大場景為 壽藏碑・自撰  
(漢詩七)

大場高景 故執政大場彌右衛門墓・川瀬教文  
(漢詩七)

大場將景 故執政雨宜軒大場府君墓・名越克敏  
(南溪)

大橋貞祥 故順清大橋君之墓銘・藤田一正  
(幽谷)

大森信成 彌三左衛門大森君墓碣銘・藤田彪  
(東湖)

大森信之 故執政大森君墓銘・青山延于  
(拙斎)

岡崎矩辰 岡崎覺右衛門暨配生井氏合葬記・藤田一正  
(幽谷)

小笠原貞美 故穎川小笠原君之墓・青山延彝  
(掃苔二)

岡田吉利 擊劍館岡田先生墓碑銘・藤田彪  
(東湖)

岡田吉利 福翁岡田君墓碑銘・立原萬  
(此君)

岡野行從 故逢原堂岡野君墓誌・小宮山昌秀  
(楓軒)

岡野行從 子言岡野君墓碣銘・飯村湜  
(史林)

岡野重成 湖中岡野君墓誌・小宮山昌秀  
(楓軒)

岡部盈辰 故盤龍子岡部君之墓  
(日立)

岡部昌言 得庵先生岡部君墓岡部婦人白土氏・佐佐長徳  
(日立)

岡部 隣 鐸山處士墓表・岡部一  
(日立)

小川義倫 伊織小川君墓誌・會澤安  
(正志)

荻 君敦 助右衛門荻君墓碑銘・會澤安  
(正志)

興津克廣 故能登守興津府君墓碑・會澤安  
(正志)

興津良明 水戸執政善淵齋興津君墓碑銘・立原萬  
(此君・漢詩四)

小澤含章 小澤公平墓碑・立原萬  
(史林・此君・漢詩三)

小澤政方 東武先生墓碑・内藤耻叟  
(掃苔四・碑文二)

小澤政敏 蘭江小澤君之墓・立原萬  
(史林・此君・漢詩七)

小篠元豫 源左衛門小篠先生墓表・杉山忠亮  
(事実三)

小瀬則行 軍蔵小瀬君墓碑銘・會澤安  
(正志)

小沼保定 藤左衛門小沼翁墓表・藤田彪 (東湖)  
小宅重長 小宅清兵衛墓碑銘・安積覺 (澹泊七・事実一・史林)  
小宅 忠 小宅兵十郎墓碑銘・安積覺 (澹泊七)  
小宅忠初 清兵衛小宅君之墓誌・小宮山昌秀 (楓軒)

か

海後宗邦 山城海後君墓碑・會澤安 (正志)  
海後宗親 從六位海後宗親墓・高橋諸隨 (碑文二)  
海保 振 海保振君之墓・横綱常陸山市毛谷右衛門 (漢詩三・碑文二)

海保芳郷 帆平海保君墓・寺門誠 (漢詩三・碑文二)

加倉井久壯 加倉井右馬允之墓・弓野國之介 (漢詩三)

加倉井雍 砂山加倉井君墓・興野輓 (漢詩三)

神代 燾 故鶴洞神代君碑・大井廣 (史林・事実二・漢詩六)

柏 正誠 柏藤八郎墓銘・立原萬 (此君)

加藤泰来 孫三郎加藤君墓碣名并序・小宮山昌秀 (楓軒)

金子教孝 贈正四位孫二郎金子君墓表・津田信存 (掃苔十一・碑文二)

輕部和啓 平太左衛門輕部君墓碑銘・藤田彪 (東湖)

川上寛致 川上翁墓碣・立原萬 (此君・漢詩五)

川口長孺 故助九郎川口君之墓・青山延于 (掃苔十二)

川口長孺 川口嬰卿墓誌・青山延于 (事実三・拙斎・史林)

川瀬教徳 七郎衛門川瀬君墓誌・會澤安 (正志・事実三)

川瀬教徳 七郎衛門川瀬君墓表・藤田彪

川又為貴 川又音丸墓碑・藤田彪 (事実三・東湖・掃苔十二)  
川又有常 川又玄泉墓碑銘・立原萬 (東湖)  
川又有常 川又玄泉墓碑銘・立原萬 (此君)

き

木内政章 水戸醫官玄節木内君墓誌・小宮山昌秀 (楓軒)  
菊池 貫 西涯菊池君墓銘・青山延光 (史林)  
菊池 矩 故南汀菊池君墓・長久保玄珠 (尚二)

菊池恒久 永三郎菊池君墓誌・原忠敬 (赤水・史林・掃苔七・漢詩七)

菊池重施 秋齊菊池君墓 (尚二)

菊池重元 道齊菊池君墓・津田信存 (掃苔七・漢詩七)

菊池重固 故南州先生鞠池君墓碣・岡井輿 (史林・掃苔七・漢詩七)

菊池成章 存誠堂菊池君墓誌・小宮山昌秀 (楓軒)

北河原景観 新五衛門北河原君墓誌・小宮山昌秀 (楓軒)

木村 謙 醉古館木村子虚墓碣銘・立原萬 (此君)

喜代太郎 孝子喜代太郎墓・高野世龍 (漢詩七・碑文一)

く

日下部崇義 訥齋日下部先生墓・日下部翼 (日立)

日下部多珂 (崇義妻) 元配山縣氏之墓・日下部翼 (日立)

楠 正方 七平楠君墓・小宮山昌秀 (楓軒)

国友尚克 與五郎國友君墓誌・會澤安 (史林・正志)

国友尚克 與五郎國友君墓碑・會澤安 (正志)

国友尚之 吉兵衛國友君墓誌銘・會澤安 (正志)

久保木清常 竹惣先生久保木君墓表・小宮山昌秀 (楓軒)

久米長徳 久米君墓銘・青山延子 (拙斎)

栗田 寛 栗田君墓碑銘・内藤耻叟 (史林)

栗田寛直 忠太郎栗田君墓碑銘・茅根泰 (寒緑)

栗田維良 葛園栗田士載墓表・小宮山昌秀 (楓軒)

栗山 愿 潜鋒栗山先生傳・板倉勝明 (事実二)

栗山 愿 栗山潜鋒略傳・小宮山昌秀 (事実二)

黒澤勝算 黒澤忠三郎勝算墓・津田信存 (掃苔十二)

黒羽包道 平山先生碑銘・木村謙 (鑑一)

桑原信毅 治兵衛桑原君墓誌銘・原忠敬 (尚二・漢詩五)

郡司貞一 郡司秀平墓碑銘・茅根泰 (寒緑)

幻 如 釈迦堂幻如照禪塔記・小宮山昌秀 (楓軒)

こ

小池友識 源太衛門小池君墓表・會澤安 (正志・事実三)

小池友賢 小池桃洞君之墓・名越克敏 (南溪・漢詩六)

小宮山昌秀 小宮山楓軒墓碑銘・塘它山 (堤公愷) (幽谷・事実三)

小宮山昌徳 東湖小宮山君墓・立原萬 (史林・此君・漢詩五)

小宮山昌郷 峴嶽小宮山君墓碣銘并序・小宮山昌秀 (楓軒)

小宮山昌嶠 桂軒先生小宮山君墓 (漢詩六)

小宮山昌堅 次郎衛門小宮山君墓・小宮山昌玄 (漢詩六)

近藤礼直 靜軒近藤君墓誌銘・藤田一正 (幽谷)

近藤礼直 靜軒近藤君碑陰・小宮山昌秀 (楓軒)

さ

齊藤一徳 監物齊藤君墓・川瀬教行 (碑文二)

齊藤員盛 次郎右衛門齊藤君墓碑・會澤安 (正志)

齊藤章峯 齊藤正信墓碑銘・大剛隆豊 (耕雲三)

齊藤正矩 要人齊藤君碑陰記・小宮山昌秀 (楓軒)

酒泉 弘 竹軒酒泉君墓銘・大井廣 (史林・事実二)

坂場意時 流謙坂場君墓碑銘并序・小宮山昌秀 (楓軒)

坂場時敏 彦介坂場君墓誌銘・會澤安 (正志)

坂場時敏 彦介坂場君墓碑銘・藤田彪 (先哲)

櫻井安亨 故居易堂櫻井君墓碑銘・立原萬 (此君・史林)

佐治 昆 竹暉居士佐治君墓碑銘・安積覺 (史林)

佐々宗淳 十竹居士佐々君之墓・安積覺 (澹泊一・事実二・史林・漢詩七・碑文一)

佐藤久徳 講藝昭先銘并序・小宮山昌秀 (楓軒)

佐藤政均 信善尼佐藤氏墓表・原昌克 (南陽)

佐藤成裕 中陵佐藤先生之墓・安積信 (掃苔十六)

佐野光賢 松翁佐野君墓誌・小宮山昌秀 (楓軒)

し

篠島徳風 篠島徳風墓表・原忠敬 (尚二・漢詩五)

柴田東江 祭故柴田子敬文・長久保玄珠 (赤水)

島崎輔吉 雲圃島崎翁墓碑銘并序・立原萬 (此君・史林)

朱之瑜 (舜水) 明故徵君文恭先生碑陰・安積覺 (史林・澹泊一・事実一・徳川家)



朱之瑜（舜水）祭文恭朱先生墓文・安積覺\*

（澹泊一）

白井象胤 忠左衛門白井府君墓碑銘・會澤安

（正志）

白須直雅 白須直雅墓碑・豊田亮

（松岡）

真龍（梁天）前金剛山慈雲寺雲上人墓表・立原萬

（史林）

真龍（梁天）祭真龍上人文・木村謙

（礪上）

す

菅原 翼 無解道人墓表・小宮山昌秀

（楓軒・漢詩三）

杉山 策 七衛門杉山君墓碑・會澤安

（正志）

杉山忠亮 千太郎杉山君墓碑銘・會澤安

（史林・正志）

鈴木玄淳 故松江鱸先生之墓・長久保玄珠

（赤水・漢詩四・碑文二）

鈴木之綱 松亭鈴木先生墓表・藤田彪

（先哲）

鈴木之徳 石橋鈴木先生墓表・藤田一正

（幽谷）

鈴木重祐 白泉先生鈴木君之墓・立原萬

（史林・此君・漢詩三）

鈴木重禮 鈴木子興墓碑銘・立原萬

（此君・漢詩三）

鈴木善教 益堂先生萬碕・會澤安

（正志）

鈴木宜尊 樂哉鈴木君墓誌銘・會澤安

（正志）

せ

関 遠（鐵之介）新兵衛關君墓・名越時孝

（掃苔七）

関口信明 九郎次郎關口君墓・小宮山昌秀

（楓軒）

関口信重 八衛門關口君新塋記・小宮山昌秀

（楓軒）

関澤政英 九皇軒關澤翁壽藏碑銘并叙・立原萬

（此君・漢詩九）

た

大剛隆豊 識壽藏碑・自撰

（耕雲四）

高倉胤明 逸齊高倉君墓誌・會澤安

（正志）

高倉胤明 逸齊高倉君墓表・會澤安

（正志・漢詩三）

高須榮清 源太夫高須君墓碑銘・藤田彪

（東湖）

高野之茂 瑞應梧井清信土墓・栗田繼良

（漢詩五）

高野重遠 四明高野先生之墓碑并序・原昌克

（南陽）

高野世龍 子隱高野君墓碑銘・立原萬

（此君）

高野布自 純一妙善清信女墓・栗田好長・繼良

（漢詩五）

高橋愛諸（多一郎）柚門高橋君墓碑銘・大橋正薫

（掃苔十四）

高橋諸徳 贈從四位高橋庄左衛門君墓表・高橋皞

（掃苔十四）

武石 温 祐左衛門武石翁墓表・藤田彪

（東湖・漢詩八）

竹内茂喬 竹内源介墓碑銘・立原萬

（此君）

竹内子實 竹内百太郎碑・蒲生重章

（碑文二）

田島庸忠 昇屋田島君墓碑銘・立原萬

（此君・漢詩四）

立原朝重 將監立原君暨配妙閑婦人墓碑・立原萬（此君・漢詩二）

立原朝重 高祖考將監立原君暨高祖妣妙閑婦人墓誌・立原萬

（此君）

立原伊彌 先妣立原氏碑陰・立原萬

（此君・漢詩二）

立原瓊（朴二郎）立原君墓碑・名越時孝

（漢詩二）

立原 鹽 立原萬故妻鶴見氏婦人墓碑・立原萬

（此君・漢詩二）

立原 任 立原杏所墓銘・鹽田華

（事実三・漢詩二）

立原 萬 自題翠軒居士碑銘・自撰

（此君・史林・漢詩二）

立原 萬 水戸彰考館編修總裁致仕翠軒先生立原君墓誌銘・小宮

山昌秀 (楓軒)

立原 豊 先考蘭溪君碑陰・立原萬 (此君・史林・漢詩二)

田中 犀 書田犀小石碑陰・林信篤 (史林)

田邊政有 儀部祠官拳拳齊田邊君墓・立原萬 (此君・漢詩五)

田邊信近 麓老田邊君墓・原忠敬 (漢詩五)

谷 忠明 鬼谷先生墓・青山延于 (掃苔二・漢詩三)

谷 遵 故維揚谷先生墓・自撰 (史林・漢詩三)

谷 惟孝(竹齋) 谷君碑陰記・矢田部常德 (東壑)

田原秀紀 南塘處士墓記・小宮山昌秀 (楓軒)

玉川温光 玉川温光君墓碑・小林定誠 (掃苔十)

田丸直允 贈從四位田丸稻之衛門碑・北垣國道 (掃苔九)

田村花團 田村君墓碑銘・大剛隆豊 (耕雲三)

田山保寅 蕭齊田山翁墓碑銘・立原萬 (此君・漢詩八)

丹 一言 慎齊丹君墓誌銘・藤田一正 (幽谷)

丹 一言 慎齊丹君墓・丹就道 (掃苔六)

丹 常(一言妻) 丹婦人林氏墓碑銘・會澤安 (正志)

丹 就道 一郎兵衛丹君墓表・會澤安 (正志)

丹 就道 丹子正墓誌銘・藤田一正 (幽谷・史林)

丹 久(就道妻) 根本氏墓誌銘・會澤安 (正志)

丹 成允 華岳丹居士墓碣・立原萬 (此君・漢詩三)

丹 弘毅 丹太一郎壙記・會澤安 (正志)

ち

遅 月 遅月上人分骨瘞藏碑・立原萬 (此君・漢詩一)

茅根為敏 先考茅根君墓表・茅根泰 (寒緑・漢詩五)

茅根 泰 伊豫之介茅根君墓・重野安鐸 (掃苔六・漢詩五)

つ

塚本好文 塚本玄二墓表・原昌克 (南陽)

津川季廣 伊太夫津川君墓碑・藤田一正 (幽谷)

辻 達 辻達小石碑誌・林恕 (史林)

都筑行敬 睡翁都筑君墓誌・藤田一正 (幽谷)

都筑行敬 總藏都筑君墓碑銘・藤田一正 (幽谷)

都築惟貞 總衛門都築君墓誌銘・會澤安 (正志)

都築惟貞 總衛門都築君墓碣銘・會澤安 (正志)

津田信存 春村津田先生墓・水野忠善 (史林・碑文一)

鶴見 儀 九臯鶴見君墓碑銘・立原萬 (此君・漢詩三)

鶴見維熊 儀兵衛鶴見君墓碑銘・立原萬 (此君・漢詩三)

鶴見高澄 傳助鶴見君墓記・小宮山昌秀 (楓軒)

鶴見 弘 鶴見甚之介碑陰・立原萬 (此君・漢詩三)

て

寺門 孝 三休寺門君墓碑銘・立原萬 (此君・漢詩四)

照山広重 照山修理碑・野口勝一 (碑文一)

と

牀井親善 平藏牀井君墓碑・會澤安 (正志)

戸田忠敏 故執政戸田君墓碑・豊田亮 (松岡・事実四)

戸田千勢（忠敏妻）戸田孺人岡野氏墓誌銘・會澤安	（正志）	中山直清	靜軒中山君墓誌・會澤安	（正志）
戸田千勢（忠敏妻）戸田孺人岡野氏墓誌銘・會澤安	（正志）	中山直清	莊司左衛門中山君墓表・藤田彪	（東湖・掃苔四）
戸田美遠	（蓬軒一）	中山信正	故從五位下東市正水戸大夫丹恭子碑・人見傳	（事実一）
飛田 勝	（史林・鉄槍五）	中山信吉	中山備前司碑・林信勝	（事実一）
富田知字	（正志）	中山包克	中村包克君墓・津田信存	（掃苔三）
富田敏貞	（史林）	名越克敏	南溪名越君之墓	（史林）
友部 求	（此君・漢詩五）	奈治原如清	鷲峰先生之墓・奈治原清謙	（那珂）
友部薄之	（此君）	南極寿星	天童開山大禪師碑・大剛隆豊	（耕雲一）
豊田信卿	（松岡）	西村矩堅	先考西邨君澄江先生碑陰文・西村広	（若水）
豊田 亮		根本敬義	五六郎根本君墓誌・會澤安	（正志）
鳥居元永	（史林・松岡・事実四・碑文一）	根本照郷	照郷根本先生墓・小室冬成子	（那珂）
な		の	の	
内藤貞常	（此君・漢詩四）	野中重亨	蕭軒野中君碑陰・小宮山昌秀	（楓軒）
中木好問	（此君）	野村鼎實	從六位野邨鼎實墓・名越時孝	（掃苔十六）
長久保玄珠	（史林）	は	は	
長久保天祐	（史林・幽谷）	萩谷勝平	二名匠碑・菊池謙二郎	（漢詩一・碑文一）
長久保猷	（碑文二）	萩谷 徹	畧喬萩谷君墓・青山延光	（漢詩九・碑文一）
中島為貞	（漢詩七）	橋本正永	東兵衛橋本君墓碑・栗田勤	（日立）
中島貞詮	（漢詩四・碑文一）	蓮田正實	蓮田一五郎君墓表・香川敬三	（掃苔二十一・碑文一）
中村儀温	（漢詩六）	林 長羽	林長羽墓碑・立原萬	（此君）
中村顧言	（澹泊二・史林・事実二）	原 雅言	十左衛門原君墓碑銘・佐佐木壽	（漢詩五）
中村良直	（漢詩七）			

原 邦明 (那珂) 好誼軒原先生之墓・大内正敬

原 忠敬 (漢詩一) 伍軒原先生碑・岡千仞

原 昌克 (楓軒・漢詩八) 水戸故侍醫南陽先生原君墓碑銘并序・小宮山昌秀

原 昌克 (事實三) 原南陽碑銘・小宮山昌秀

原 昌術 (漢詩三) 清漣原先生墓碑銘・小宮山昌秀 (楓軒・此君・漢詩三)

ひ

日置新六 (史林) 故花木深處日置君墓碑・神代燾

肥田政孝 (澹泊七) 肥田獵之丞碑陰・安積覺

肥田政大 (觀瀾) 肥田某碑文・三宅緝明

人見 壹 (史林) 故致仕鴻儒卜幽軒野先生碑・人見傳

人見 傳 (澹泊一・史林・事實二) 野懋齋碑陰・安積覺

平野重義 (那珂) 平野又左衛門先生墓碑・綿引亨

廣木有良 (漢詩六) 贈正五位廣木松之介墓・高橋諸隨

広瀬常廣 (楓軒) 重阿威順信士墓石記・小宮山昌秀

ふ

福地充宣 (東園) (日立) 即應常現居士墓・長久保玄珠

藤咲正方 (史林・事實二) 僊潭藤咲先生墓碣・徳田庸

藤田一正 (史林・幽谷・正志・事實三) 幽谷藤田先生墓誌銘・會澤安

藤田一正 (正志・漢詩二・碑文二) 幽谷先生次郎左衛門藤田君墓表・會澤安

藤田益 (二正繼母) (繼母山田氏墓誌・藤田一正) (幽谷)

藤田梅 (一正妻) (掃苔五・碑文二) 藤田婦人丹氏墓

藤田言徳 (此君・漢詩三) 安善居士藤田翁之墓碑銘・立原萬

藤田 彪 (史林・事實四・掃苔五・漢詩一・碑文二) 故側用人兼學校奉行藤田君墓碑・青山延光

藤田 彪 (先哲・松岡) 東湖藤田君墓誌・豊田亮

藤田里子 (彪妻) (掃苔五・碑文二) 藤田夫人山口氏墓

ほ

北條 敬 (漢詩一・碑文二) 香雪北條先生墓表・津田信存

北條 秀 (漢詩二・碑文一) 梅山北條先生墓表・佐佐木壽

堀口貞久 (漢詩八) 喜山堀口君墓

堀口貞秀 (漢詩七) 故壽山堀口君墓

堀口貞英 (漢詩八) 觀了院宗持日信墓

本間 温 (掃苔二十) 故醫正補本間高佐墓・南摩綱紀

本間資章 (玄調) (掃苔十九) 故醫正救本間先生墓・茅野世育

本間資成 (掃苔十九) 故益謙本間先生之墓・青山延光

ま

増子兼辟 (碑文二) 民部左衛門益子君墓碣銘・内藤耻叟

増子惟茂 (東湖・事實三) 幸八郎増子君墓表・藤田彪

増子惟茂 (幽谷) 幸八郎増子君墓表・藤田一正

増子淑茂 (正志) 幸八郎増子君墓誌・會澤安

増子淑時 (史林) 増子滄洲碑銘・徳田庸

松平信循 (漢詩三) 松平雪山先生之墓・津田信存

松平頼讓 (正志) 公族將監松平府君墓誌・會澤安

松平頼巧	采女松平府君墓誌・會澤安	(正志)
松平頼巧	采女松平府君墓碑・會澤安	(正志)
松原顯通	松原顯通墓表・原忠敬	(尚二)
み		
三浦 徳	三浦婦人古川氏墓誌銘・茅根泰	(寒緑)
三木之教	故毅齋三木府君之墓・安積覺	
三木之幹	故執政日諦觀居士三木君墓・安積覺	(澹泊七・事実二・漢詩六)
緑川利實	種徳堂緑川生招魂墓碣銘・立原萬	(漢詩六)
皆川教純	瓦全皆川君墓碑銘・立原萬	(此君)
皆吉胤忠	皆吉處士墓表・藤田一正	(此君・漢詩五)
美濃部茂政	又三郎美濃部君墓誌銘・藤田彪	(幽谷・漢詩三)
三宅緝明	觀瀾三宅先生碑銘・三宅濟美	(事実三・東湖)
宮田兼養	六和先生墓碣銘・藤田彪	(事実二・史林)
宮本元球	*茶村宮本先生行狀・清宮秀堅	(東湖・事実三)
宮本虎孝	左一郎宮本先生墓碑銘・藤田彪	(事実四)
も		
本橋政國	政國君之碑・手塚惠進	(東湖・漢詩八)
森 蔚	森豹卿墓碣銘・青山延寿	(碑文一)
森 蔚	詩人靜觀居士墓・自撰	(史林・鉄槍五)
森 尚謙	儼塾森君墓誌銘・安積覺	(漢詩六)
森田 淳	田巴山碑陰・安積覺	(事実二・史林)
や		
彌 作	孝子彌作墓表・小宮山昌秀	(楓軒・碑文一)
也 須	節婦也須碑銘・佐佐木籌	(碑文一)
谷田部允徳	谷田部允徳墓表・豊田亮	(松岡)
谷田部常徳	東壑先生谷田部君墓碑銘・立原萬	
谷田部常徳	東壑先生行狀・桜井安亨	(史林・此君・漢詩五)
楊 元資	道友楊君墓碑銘・藤田一正	(事実二)
楊 元成	道玄楊君墓銘・會澤安	(幽谷)
楊 元成	道玄楊君墓誌銘・藤田彪	(正志)
矢野常之	唯之允矢野君墓誌・會澤安	(東湖)
山口克観	無礙庵道人中徳墓・小宮山昌秀	(正志)
山野邊義實	水戸故國老主水正山野邊府君墓誌銘・會澤安	(楓軒)
山野邊義正	水戸故國老包丸山野邊府君墓誌・會澤安	(正志)
よ		
横屋将美	斥鷃横屋君墓碑銘・立原萬	(此君)
横屋常倫	一之進横屋君墓碑銘・立原萬	(此君)
吉田尚寛	本節吉田君墓誌銘・藤田一正	(幽谷)
吉成知哲	玄映吉成居士墓碣・立原萬	(此君)
吉成信貞	吉成愼亭墓表・豊田亮	(松岡)
吉成信貞	愼亭吉成君墓碑・會澤安	(正志)
隆 精	常州久自郡蘆野倉村南邊寺隆精碑・木村謙	(隘一)

梁天（真龍）前金剛山慈雲寺大雲上人墓表・立原萬 （此君）

れ

連珊育雄 連珊上座墓表・大剛隆豊 （耕雲三）

わ

綿引昌言 正齋綿引君墓表・原忠敬 （尚二・漢詩六）

綿引千代（昌言妻）綿引氏婦人墓 （漢詩六）

綿引 亨 文山綿引先生墓碣銘・小山朝弘 （漢詩六）

綿引 寛 坤山綿引先生墓表・綿引泰 （漢詩六）

綿引 泰 綿引東海碑文・竹内源太郎 （漢詩六）

## 二、参考文献一覧

本索引に掲載した文献を次に紹介する。排列は書名の五十音順とした。書名のカッコのうち、『』は刊本、「」は写本または雑誌論文である。末尾の（）内は主な所蔵機関である。

『會澤正志斎文稿』會澤安編 国書刊行会 平成一四

（茨大図・県立図・市立図）

『礪詩集』木村謙 天明八年序（写本）大正一五 （北大図）

（北大図全文データベースあり）

『観瀾集』（『続々群書類従』第一三所収）三宅緝明 国書刊行会

明治四二 （茨大図・県立図・市立図）

『寒緑遺稿』上（文）茅根泰著 長久保猷 明治一九 （県立図・歴

史館）（国会図・近代ライブラリーデータベースに本文データ）

『近代先哲碑文集』亀山聿三 夢硯堂 昭和四四

（県立図・歴史館）

『耕雲余稿』全四冊 隆豊（大剛・東海・丹道）著 写本 文化

一四 （駒澤大）

『此君堂文集』立原萬 写本 （県立図・歴史館・国会図・静嘉堂）

『事实文編』全五巻 五弓豊太郎 国書刊行会 明治四三

（茨大図・県立図）

『若水館遺稿』西村元鱗 写本 （茨大図）

『尚不愧斎存稿』全四巻 原忠敬 綿引天行 明治一七

（茨大図・県立図・国会図）

『史林墓表』青山勇編 水戸市教育委員会 大正三

（歴史館・国会図）

『赤水文章』長久保玄珠（手稿本）（水戸）杉田雨人写 昭和一〇

（『立原翠軒伝資料』二五補遺所収）（県立図・歴史館）

『拙斎小集』全四巻 青山延于 文昌堂蔵版（水戸）嘉永元

（茨大図・県立図・歴史館）

『澹泊斎文集』全八巻四冊（『続々群書類従』第一三所収）安積覺

国書刊行会 明治四二 （茨大図・県立図・歴史館・市立図）

『鉄槍斎文鈔』青山延寿 青山延寿（東京）明治二一

（茨大図・県立図・歴史館）

『東壑文稿』（『立原翠軒伝資料』一四補遺所収）谷田部常徳

岡沢稲里（編）（歴史館）

『東湖全集』藤田彪 章華社 昭和一五 （茨大図・県立図）

『徳川家墓所』（常陸太田市内遺跡調査報告書）徳川斉正・常陸太

田市教育委員会編 常陸太田市教育委員会 平成一九

(茨大図・県立図・歴史館・市立図)

『那珂町の碑文』那珂町史編纂委員会 昭和六一

(県立図・歴史館・市立図)

『南溪先生全集』名越克敏

『南陽原先生文集』原昌克 二卷二冊

『常陸太田の金石文』常陸太田の金石文編集委員会編 常陸太田市教育委員会 昭和五三

(県立図・歴史館)

『日立の碑』ひたち碑の会編 日立市郷土博物館 平成一八

(茨大・県立図・歴史館)

『碑文双書』(一)(二)茨城縣内版(漢文編) 碑文・墓碑銘集

鈴木健夫・田代辰雄 平成二〇

(茨大図・県立図・歴史館・市立図)

『楓軒文稿』全五冊(手稿本) 小宮山昌秀

『蓬軒遺風』其一二 戸田忠敏 昭和九 (県立図・歴史館)

『松岡先生文集』(乾・坤) 豊田亮 里美村(茨城県) 里美を知る会

平成一六 (茨大図・県立図)

『水戸先哲烈士の墓』(一)(十二) 長南倉之助(掃苔) 所収(七卷

一) 号(八卷二二) 昭和一三(一四) (県立図)

『水戸の漢詩文』全九卷 前川捷三編著 (一) 茨城大学教育研究

開発センター刊、(二)(九) 同大学教育学部国語教育講座刊

平成一〇(一八) (茨大図)

『幽谷全集』藤田一正 菊池謙二郎編 吉田彌平 昭和一〇

水戸藩人士の墓碑銘索引

(茨大図・県立図・歴史館)

なお、水戸藩の人物名やその墓石の位置などを確認するためのツールとして次の資料がある。本索引を作成する上でも参考にした。

『増補水戸の文籍』(清水正健著 水戸の学風普及会 昭和四六年)

『彰考館總裁略伝』(雨谷毅編 筭文社 大正四年)(巻末に彰考館

員一覧あり)

『水戸藩先賢烈士と其墳墓』(斎藤新一郎編 水戸学振興会 昭和

三三年)

『水戸先賢の墓碑』(上・下)(大塚博著「常総の歴史」一六号・

一七号所収 平成七・八年)

『国書総目録』(岩波書店編・刊 昭和三八(平成三年))

『日本古典籍総合目録』(国文学研究資料館編 岩波書店 平成二年)

## おわりに

本索引を作成して気づいた点を最後に述べたい。

墓碑銘はその人物の情報だけでなく、その人物が生きた時代背景を知る上でも重要な歴史資料のひとつであるといえる。墓碑銘を作成する過程には様々な段階がある。まず碑石の選定からはじまり、学者・能書家へ撰文などの依頼、さらには彫師なども関わってくる。墓碑銘を研究するということは歴史学だけでなく、金石学、国語国文学史、書道史など周辺の領域を探ることもつながるのではないだろうか。

注目すべきことは女性の墓碑銘に本名が刻まれる場合があること

である。ほとんどが水戸藩士の妻や母などであるが、「水府系纂」では「女」としか記載されていないことを考えれば、墓碑銘研究は女性史研究にとっても有効であり、もつと活用されるべきだと考える。撰文者については、建碑をする遺族や門人などが依頼しているが、水戸藩の学者、とくに彰考館員が多い。本索引に収録した墓碑銘全四一六項目の撰文者数は一一〇名である。担当した墓碑銘の項目数が多い順にあげると、立原萬（翠軒）五七、會澤安（正志齋）五一、小宮山昌秀（楓軒）三六、藤田彪（東湖）二三、藤田一正（幽谷）一八。墓碑銘を誰に依頼して書かれているかをみると、故人だけでなく撰文者の水戸藩内での地位や交遊関係、当時の社会情勢がわかつて興味深い。なお、時代が下つていくと撰文者に市井の文人が多くなっていく。

碑文が多く作成されたのはいつ頃までかという点、墓碑は江戸時代中期から明治初期で、頌徳碑・記念碑は明治中期まで、忠魂碑は日清・日露戦争後のものが多く残っているようである。<sup>8)</sup>それ以後は漢文の衰退と共に急速に少なくなっていく。なお、墓碑銘は故人を顕彰するのが目的であるため内容に誇張があるのは免れないので、利用する際には注意が必要である。また、紙に書かれた墓碑銘と実際に石に刻まれたそれとは食い違っている場合があるので、水戸藩士の研究をする場合は「水府系纂」や『増補水戸の文籍』など他の資料と併用して利用されたい。

水戸藩関係の碑文の悉皆調査を行ったものとしては管見のかぎりでは冒頭であげた『日立の碑』だけである。ただし、これは日立市

地域のみを対象としたものである。今後は水戸藩全体の碑文を悉皆調査した『碑文集』が発行されるのを期待したい。なお、本索引はまだ調査中のものであり、今後も引き続き調査をしていきたい。碑文が掲載されている文献など、情報の提供をお願いする次第である。

最後になったが、本稿を作成するにあたって次の方々と機関にお世話になった。記して感謝したい。

茨城大学図書館、茨城県立図書館、茨城県立歴史館、水戸市立図書館、水戸市立博物館、日立市郷土博物館、常磐共有墓地管理委員会、酒門共有墓地管理委員会、財団法人無窮会、秋山高志、雨谷昭、石田肇、磯田道史、上野潤子、大森林造、栗田聰、小坪のり子、島崎和夫、鈴木健夫、田代辰雄、玉川里子、永井博、堀口育男、堀辺武、前川捷三、前川辰徳、吉成英文の諸氏

注8 『碑文双書 茨城県内版（漢文編）碑文・墓碑銘集』（一）「まえがき」参照。